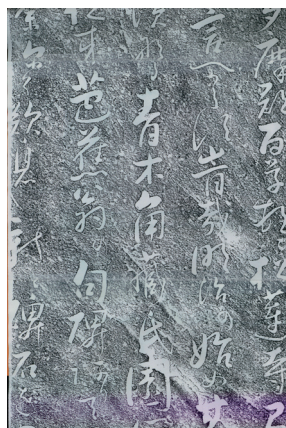


芭蕉碑「華見塚」碑の由来



此の句碑には「しばらくは華の上なる月夜かな」と云う芭蕉の俳句が刻まれており、当時横浜在住の三堀武蔵(俳号月華)によって建立されました。三堀武蔵は百草園を開いた青木角蔵の仕事仲間であり、蕉風の宗匠でもありました。

華見塚の裏面に建立の由来が刻まれており、この地にはもともと芭蕉の「月見塚」の句碑があったが当時すでに無く、新たに建立したと刻まれています。「月雲の外には置かず華見塚」と云う月華の俳句が添えられています



華見塚碑文

武蔵国南多摩郡百草郷二松蓮寺有り、調布の玉川二

傍て勝景佳趣言へからず、時哉、明治の始め其址廃崩して荒寂二

就しを、此度横浜なる青木角蔵氏、園圃旧里を回復し、更に

百草園と号く、従来芭蕉翁の句碑ありて月見塚といひしも終二

其跡絶たりしを、余、深く嘆息し新二碑石を建て花見塚と称し、

真形を潤色して、世の雅風子と共に千歳不朽の壯観たらしめんと云

月雲も外にハ

置かず花見塚

在横浜

三堀武蔵

時明治二十年三月 俳号 月華 建之